

草刈り作業をもっとラクに！ -省力化を進めるリモコン草刈機実演会を開催-

高齢化で負担が増す棚田畦畔の草刈りの省力化を進めるため、各メーカーの機種比較の実演と導入に向けた情報交換・マッチングイベントを実施。

○ 施策分類

棚田地域振興関係、普及・技術対策

○ きっかけ・背景、課題の把握

多くの中山間地域では、高齢化や担い手不足により、草刈り作業が大きな負担となっており、栗原市若柳蓬田地域も例外ではなく、特に棚田の傾斜地では重労働であり事故リスクも高いとの話を聞いた。そこで、農研機構の協力を得てリモコン草刈機の有用性について勉強会を実施したところ、実際の棚田でも実演を見てみたいとの声から、関係機関と連携し実演会を実施した。

○ 取組の内容

当日は、同地域のメンバーのほか地域の関係者等約80名が参加し、5社から協力を得て9台のリモコン草刈機が持ち込まれ、説明・実演を行った。また、安全面の留意点について宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所から情報提供を併せて行った。その後、参加者には自由にメーカーと話をしたりデモを見てもらった。

○ 効果・成果、今後の方向性

同集落の代表からは、「この実演会は、昨年、東北農政局との意見交換を行った際に、高齢化が進み草刈りが一番大変であると話したことがきっかけで実現したもので、体への負担軽減のためにはスマート農業機械の利用も考えていかなければならない。」との話があった。リモコン草刈機の導入は、指定棚田地域振興活動計画にも記載されており、導入に向けて検討中。実演会後に、ニュースで報道されたことから問合せもあり、隣県や県内の他の地域でも横展開を進める予定。

また、職員が作成した動画を拠点HPに掲載し、リモコン草刈機の紹介を行っている。（動画：https://youtu.be/kTP_-dJle_o）



オンライン勉強会の様子
(4月9日)



棚田地域におけるリモコン
草刈機実演研修会の様子
(6月16日)

<上記、リモコン草刈機の写真レポート>

https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/miyagi/photo/r07_mi.html#a250616

体制図

